

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 30 日作成)

小委員会名	住宅の水まわり空間の環境設備設計ガイドライン検討小委員会	
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (水環境運営委員会)	
設置期間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設計と水まわり計画を総合させて計画できる水まわり計画のガイドラインを作成して、各水まわり空間での設計上の留意点を明確にする ・各種ライフスタイルに応じた水まわりの空間の設計例を提案し、ガイドラインとの整合を図り、ガイドラインそのものの精度も向上させる 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：大塚雅之（関東学院大） 幹事：結城 晶博（TOTO） 委員：青木光之（青木計画研究室）、石本雅（東京ガス）、井田浩文（東京電力）、 上村直純（UR都市機構）、倉田丈司（LIXIL）、越野絹子（ベターリビング）、 西川豊宏（工学院大学）、野口修（都市環境研究室）	
設置 WG (WG 名：目的)		
2013 年度予算	5,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	8 回（年度内計画を含む）
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 建築計画（ライフステージの変化も考慮）と環境設備計画の関連性の把握 2. 各種環境設備に関する資料の収集 3. 実例施工写真・市販の最新技術資料、住宅会社の展示場の確認 4. 報告書まとめに向けて執筆に着手
委員会活動の問題点 ・課題	1. 今後の成果を公開して行くための方法の模索（出版、シンポジウム開催） 2. 建築・設備事例の資料収集（特に写真、実用図面）の検討 3. その他資料（高齢者対応、震災対応、空調・電気設備との関連性）

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

*表中の「(書名)」等の赤文字は、記述を誘導するための説明である。記載の有無にかかわらず最終的には削除のうえ提出すること。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。

* 中間年度には中間評価を、最終年度には最終評価としての自己評価を記入すること。

環境工学委員会用 自己評価欄

20 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

<p>総合評価 (4段階評価)</p>	<p>B</p>																		
<p>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</p>	<p>過去に関連委員会として、住宅水環境性能評価委員会を実施し、水廻り空間の性能評価を建築的側面、環境設備的側面から評価する方法を提案して、実践してきた。その背景のもと、今回は視点を水廻り空間の計画設計に置き、まずは新築、リフォームを含めて、水廻り空間と給排水設備との取り扱いについて検討した。その上で、水廻り空間に組み込む給水設備、給湯設備、排水設備、衛生器具設備などの主要な設備の計画設計に関する留意点を整理し、それぞれの新技術の収集、実例写真等の収集ができ、最終年度の報告書とりまとめにむけた活動が充実できた。</p> <p>※2012年度委員会開催状況</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回 (5月13日)</td> <td>報告書目次案の検討</td> </tr> <tr> <td>第2回 (6月17日)</td> <td>給水、給湯、衛生設備についての目次案について 検討</td> </tr> <tr> <td>第3回 (7月25日)</td> <td>衛生設備に関する内容の検討</td> </tr> <tr> <td>第4回 (9月10日)</td> <td>給湯、排水、衛生設備に関する内容の検討</td> </tr> <tr> <td>第5回 (10月29日)</td> <td>給水、給湯、衛生設備に関する内容の検討</td> </tr> <tr> <td>見学会 (11月11日)</td> <td>積水ハウス古河工場の給排水設備展示など見学</td> </tr> <tr> <td>第6回 (12月9日)</td> <td>これまでまとめた内容の整理</td> </tr> <tr> <td>第7回 (1月30日)</td> <td>これからの設備の展望について情報収集</td> </tr> <tr> <td>第8回 (2月24日)</td> <td>同上、現場事例写真の紹介</td> </tr> </table>	第1回 (5月13日)	報告書目次案の検討	第2回 (6月17日)	給水、給湯、衛生設備についての目次案について 検討	第3回 (7月25日)	衛生設備に関する内容の検討	第4回 (9月10日)	給湯、排水、衛生設備に関する内容の検討	第5回 (10月29日)	給水、給湯、衛生設備に関する内容の検討	見学会 (11月11日)	積水ハウス古河工場の給排水設備展示など見学	第6回 (12月9日)	これまでまとめた内容の整理	第7回 (1月30日)	これからの設備の展望について情報収集	第8回 (2月24日)	同上、現場事例写真の紹介
第1回 (5月13日)	報告書目次案の検討																		
第2回 (6月17日)	給水、給湯、衛生設備についての目次案について 検討																		
第3回 (7月25日)	衛生設備に関する内容の検討																		
第4回 (9月10日)	給湯、排水、衛生設備に関する内容の検討																		
第5回 (10月29日)	給水、給湯、衛生設備に関する内容の検討																		
見学会 (11月11日)	積水ハウス古河工場の給排水設備展示など見学																		
第6回 (12月9日)	これまでまとめた内容の整理																		
第7回 (1月30日)	これからの設備の展望について情報収集																		
第8回 (2月24日)	同上、現場事例写真の紹介																		

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。